

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

〔1〕経済活力の向上の必要性

現状分析と事業の必要性

これまでの中心市街地活性化基本計画では、中心市街地を、商業の拠点のみならず、社会的・文化的活動の拠点に位置付け、官民で様々な事業に取り組み、行政においては、市民活動の拠点となる文化・交流・スポーツ施設の整備を進めてきたところである。

こうした市の方針や公共施設整備の波及効果を受けて、民間によるマンション整備や、商業ビルのコンバージョンによるオフィスへの転換などが進むことで、それまでの空きビルや既存ビルが新たな機能に生まれ変わるとともに、来街者、居住者、働く人など、多様な方々が集まる中心市街地となってきた。

そのような中、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による市民等の来街機会の減少、EC サイト利用の定着といった消費行動の変化等の影響により、老舗大型店や周辺店舗の閉店といった、小売を中心とする商業機能の衰退を招き、1階路面店の空き店舗・空き地率は、特に十三日町においては50%を上回る状況となっている。

一方で、中心市街地の大きな特徴である「横丁」をはじめとする飲食店の集積により、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後は、市民や観光客など、昼夜とも飲食店等を訪れる人により、活況を取り戻しつつある状況にある。

こうした現状を踏まえ、第4期計画の基本方針では、「地域に根差し街の未来をつくる経済活動が生まれるまちづくり」を掲げたところである。

第4期計画においては、居住者や働く人が増える状況やインバウンドをはじめとする観光需要を踏まえ、こうした方々のニーズや動向にマッチする機能や店舗を充実させていく必要があり、新たに「十三日町・十六日町地区再整備事業」による商業機能や宿泊機能の立地によってこれらの方々の利便性を高めていくこととしたい。

さらに、「はちのへAI（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト」の事業である「中心商店街情報発信アプリ」や「フリーWi-Fi」、さらには「AI カメラ」及び「人流分析システム」の開発や運用を進めることで、既存の店舗や新たなプレイヤー等がこうしたハードウェアやオープンデータを活用できる環境を整えるとともに、第3期計画に引き続き「横丁」や「市」といった地域観光資源を活かした事業や、八戸三社大祭や八戸えんぶり、はちのへホコテン等の伝統行事やイベント事業の開催を促進し、来街機会を創出することで、経済活動の活性化を図るとともに、商業機能の充実に繋げていきたい。

さらに、第4期計画期間中には、現在実施している「中心商店街空き店舗・空き床解消事業」に止まらず、物件所有者を対象としたヒアリングを実施するなど、面的かつ長期的な視点をもって空き店舗対策や制度設計を検討することで、「はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業」とも連携しながら、中心市街地における多様な主体の参画や活動の活性化を促すとともに、空き店舗の解消を図っていきたい。

〔2〕 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業名】 まちなか生業応援事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	八戸市・青森県		
【事業内容】	①空き店舗活用チャレンジ融資（県）（令和 7 年度事業終了） 空き店舗を活用した開業希望者に対し、長期かつ低利で融資支援を行う。 ②空き店舗活用チャレンジ融資利用者に対する支援（市）（令和 6 年度事業終了） ①の融資制度利用者で一定要件を満たしている者に対し、保証料補助等を行う。 ③商店街後継者育成支援事業（市） 商店街の後継者育成に係る事業に対し、費用の一部を補助することで、商店街の次世代の担い手確保を促進する。 ④商店街持続的活性化支援事業（市）（令和 6 年度事業終了） 商店街を中心とした持続的活性化を目的とした事業に対し、費用の一部を補助することで、商店街の自発的なまちづくり活動を促進する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	魅力ある商店街の再生		
【目標指標】	空き店舗・空き地率		
【活性化に資する理由】	開業の支援や商店街の魅力向上により、「空き店舗」の解消が図られ、「空き店舗・空き地率」の改善に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業 ※②、③、④のみを対象		
【支援措置実施時期】	②、④令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月 ③令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

【事業名】 I T 産業集積促進事業

【事業実施時期】	平成 14 年度～
【実施主体】	八戸市
【事業内容】	I T 関連産業の誘致企業に対する賃料補助及び雇用奨励金による支援、八戸 I T ・テレマーケティング未来創造協議会への支援を行うことで、中心市街地への産業誘致を推進する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	

【目標】	魅力ある商店街の再生		
【目標指標】	空き店舗・空き地率		
【活性化に資する理由】	オフィスの進出が進むことで、経済活動の活性化が図られるとともに、空き店舗や空きビルの解消が図られ、「空き店舗・空き地率」の改善に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和6年4月～令和11年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

【事業名】 中心商店街空き店舗・空き床解消事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	中心商店街の空き店舗に新規出店する事業者に対し、店舗の改装等に要する経費の一部を支援することで、商業機能の向上を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	魅力ある商店街の再生		
【目標指標】	空き店舗・空き地率		
【活性化に資する理由】	空き店舗等の解消が図られることから、「空き店舗・空き地率」の改善に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～
【実施主体】	八戸商工会議所
【事業内容】	株式会社まちづくり八戸が実施する空き物件情報の提供と連携し、起業・創業支援及び事業承継支援を行うことで空き店舗解消に寄与するほか、創業者交流イベントの開催などにより中心市街地での起業促進と活動の後継者育成を図る。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	魅力ある商店街の再生
【目標指標】	空き店舗・空き地率
【活性化に資する理由】	商業機能の向上が図られるとともに、空き店舗の解消が図られ、「空き店舗・空き地率」の改善に寄与するため。
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業

【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

【事業名】 市民大学講座開催事業

【事業実施時期】	昭和 45 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	様々な分野の専門家や八戸市に縁のある方を講師に迎え市民向けの公開講座を八戸市公会堂等で年間 10 講義程度の講座を開催することで、中心市街地への来街機会を創出するとともに市民の教養を深める。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	来街者が見込まれ、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸三社大祭開催事業

【事業実施時期】	昭和 54 年度～		
【実施主体】	一般財団法人 V I S I T はちのへ		
【事業内容】	約 300 年の歴史を誇り、地域の郷土芸能が揃う八戸を代表する祭りである八戸三社大祭（ユネスコ無形文化遺産、国重要無形民俗文化財）の開催・運行を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	歴史と伝統を継承することで来街機会の創出や回遊性向上に資することから「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 中心市街地活性化協議会支援事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	八戸市		

【事業内容】	タウンマネージャーを配置し、調査や相談業務、商店街間の連携強化を推進するほか、エリアマネジメント視点での空き店舗対策の検討、まちづくりの勉強会の実施等により、商業機能の強化を図ることで賑わい創出につなげる。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出 魅力ある商店街の再生		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、空き店舗・空き地率		
【活性化に資する理由】	各種事業の実施により、「AI カメラ地点通過者数」の増加及び「空き店舗・空き地率」の改善に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和6年4月～令和11年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸えんぶり開催事業

【事業実施時期】	昭和 56 年度～		
【実施主体】	一般財団法人V I S I Tはちのへ		
【事業内容】	毎年 30 余組のえんぶり組が参加し、多くの観光客が訪れる伝統芸能行事である八戸えんぶり（国重要無形民俗文化財）を開催することで、来街機会の創出を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	来街機会の創出や回遊性向上に資することから「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸ポータルミュージアムイベント開催事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～
【実施主体】	八戸市
【事業内容】	文化・芸術活動や観光の推進を図るため、中心市街地の回遊拠点施設において各種自主事業の実施や貸館の利用促進、創業支援である「ものづくりスタジオ」、さらには市民が自由に利用できる会所場づくりを行う。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	

【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	賑わい創出事業の実施や施設の利用促進により、「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和6年4月～令和11年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸ブックセンターイベント開催事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	市直営の書店であり、「本のまち八戸」を推進する拠点施設で本のまち八戸ブックフェスや各種企画展、高等教育機関と連携した公開講座等を実施することで来街機会を創出する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地への来街機会を創出することで、「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸まちなか広場イベント開催事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	「緑・水・光」などの自然要素を取り入れた街なかの「庭」のような広場「マチニワ」において、自主事業の実施や貸館利用に加え、自由に滞在できる空間の提供により、人が集い賑わう場を創出する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	当該施設の利活用促進により、「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省

【その他特記事項】	区域内
-----------	-----

【事業名】 八戸市長根屋内スケート場施設活用事業

【事業実施時期】	令和元年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	中心市街地に立地する利点を活かし、屋内スケート場として、また、他のスポーツ、コンベンション等のイベントや会議等、多目的な利用を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	事業の実施により、中心市街地での宿泊、飲食等の機会創出に繋がることから、「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和6年4月～令和11年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸市美術館イベント開催事業

【事業実施時期】	令和3年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	「アートのまちづくり」の中核施設となる美術館で、人づくりやまちづくりに分野横断的に取り組むプログラムを実施し、さらに、様々な市民活動の場となることで、市民から観光客まで、子どもから大人までの幅広い層の来館を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地への来街機会の創出により、「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和6年4月～令和11年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 文化施設の広報・情報発信事業

【事業実施時期】	令和5年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	中心市街地において実施する文化施設関連のイベントの情報発		

	信を市内各戸配布の情報誌及び中心街情報を発信している SNS を活用し情報発信することで、文化施設及び施設間連携イベント等の認知度向上と周知を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	来街機会の創出と回遊性向上により「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 はちのへ菊まつり開催事業

【事業実施時期】	昭和 47 年度～		
【実施主体】	八戸市・八戸市を緑にする会		
【事業内容】	八戸が発祥の地である奥州菊の展示やステージイベント等を開催することで、来街機会の創出を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	当該イベントの中心市街地の公共施設での開催により、来街機会の創出につながることから「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 観光誘客推進事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～
【実施主体】	八戸市及び一般財団法人 V I S I T はちのへ
【事業内容】	インバウンド対策、八戸ポータルミュージアムの観光交流機能の充実、周辺観光コンテンツとの連携など戦略的に誘客推進の環境整備を推進する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数

【活性化に資する理由】	環境整備を行い、誘客を推進することで「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和6年4月～令和11年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

【事業名】 市民文化芸術活動振興事業

【事業実施時期】	令和４年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	社会的・文化的活動の拠点である中心市街地において市民による文化芸術活動の振興に関する補助や支援制度の充実を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	来街機会が創出されることで「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和６年４月～令和１１年３月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 はちのへホコテン実施事業

【事業実施時期】	平成 21 年度～		
【実施主体】	株式会社まちづくり八戸・八戸商工会議所		
【事業内容】	メインストリートを歩行者天国にして、ストリートライブやパフォーマンスなどの市民参加型イベントを定期的に開催することで、来街機会の創出を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	当該イベントを実施することで、商業の活性化に資するとともに、来街機会の創出により「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸七夕まつり運営事業

【事業実施時期】	昭和26年頃～		
----------	---------	--	--

【実施主体】	株式会社まちづくり八戸・八戸商工会議所		
【事業内容】	三日町・十三日町・ヤグラ横町の路上をステージに、夏の風物詩として八戸圏域の住民に親しまれている「八戸七夕まつり」を開催することで、来街機会の創出を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	イベントの実施による来街機会と賑わい創出を図ることで「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和6年4月～令和11年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 八戸市中心街街路再整備方針策定事業（再掲）

【事業実施時期】	令和 8 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	国道 340 号三日町・十三日町区間の街路を再編し、歩行・滞在空間の充実を図るとともに、軒先空間も含めた空間における様々な活動を展開するための「八戸市中心街ストリートデザイン事業」の具体化に必要な詳細調査として、交通量調査、交通シミュレーション、再整備案の 3D モデル構築を業務委託にて実施し、関係者との合意形成に必要な「街路再整備方針」を策定する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	当該地区の街路整備と屋外空間での商行為等の様々な活動の展開により、人が訪れ、人が集まるみちが形成され、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】			

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

【事業名】 十三日町・十六日町地区再整備事業（再掲）

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	民間事業者		

【事業内容】	民間再開発による商業ビルの建て替え、分譲マンション2棟と店舗・ホテル棟、立体駐車場、さらには公共的通路等を整備する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出 魅力ある商店街の再生 暮らしやすさの向上 宿泊滞在の推進		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、空き店舗・空き地率、まちなか居住者増加数（社会増減数）、ホテル宿泊者数		
【活性化に資する理由】	店舗の整備により市民等の来街機会が創出されることで「AI カメラ地点通過者数」の増加及び「空き店舗・空き地率」の改善に、マンション並びにホテル整備により「まちなか居住者増加数（社会増減数）」、「ホテル宿泊者数」の増加にそれぞれ寄与するため。		
【支援措置名】	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）		
【支援措置実施時期】	令和4年度～	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

【事業名】 はちのへ AI（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト

【事業実施時期】	令和４年度～
【実施主体】	八戸市
【事業内容】	地域社会のデジタル化を推進することで、中心市街地における誘客推進と経済活動をはじめ様々な活動を誘発するとともに、バスの利用促進と利便性向上を図る。 プロジェクトは次の事業で構成する。 ・中心商店街情報発信アプリ（はちまちLINE）の開発・実装 ・まちなかフリーWi-Fiの整備 ・AIカメラの設置 ・バスICカードポイント付与システム・キャッシュレス決済システムの開発 ・人流分析システムの開発 ・駐車場利用者の利便性向上事業 ・SNS活用・初心者向けアプリ制作などのセミナー開催
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出
【目標指標】	AIカメラ地点通過者数、公共施設来館者数、空き店舗・空き地率

【活性化に資する理由】	・ 中心市街地を訪れる人、商売をされる人、住む人など、様々な方々が、フリーWi-Fi や中心商店街情報発信アプリを活用することで、回遊行動等に繋げる。 ・ AI カメラと人流分析システムによるデータをオープンデータ化することで、商業活動や経済活動に繋げる。 ・ 「ハチカ」の普及と人流分析により、バスの利便性向上と中心市街地へのアクセス向上に繋げる。 ・ 駐車場利用者の利便性向上事業により、マイカー利用者の利便性向上を図る。 ・ 事業者向けのセミナーを開催することで、個店の魅力発信と来街者の増加に繋げる。 これらの事業により、「AI カメラ地点通過者数」と「公共施設来館者数」の増加に寄与するとともに、「空き店舗・空き地率」の改善に寄与する。		
【支援措置名】	デジタル田園都市国家構想交付金		
【支援措置実施時期】	令和 4～6 年度	【支援主体】	内閣府
【その他特記事項】			

【事業名】 こどもの声を聴く機会創出事業

【事業実施時期】	令和 6 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	Web 制作や情報発信が好きなこどもを集め、中心街でこどもまちなか IT 部を創設し、こどもたちが様々な活動を行いながら、こども版の市ホームページを作成・運用する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中心街への来街機会の創出につながることから、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	デジタル田園都市国家構想交付金		
【支援措置実施時期】	令和 6 年度～	【支援主体】	内閣府
【その他特記事項】			

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

【事業名】 八戸市中心街ストリートデザイン事業（再掲）

【事業実施時期】	令和 3 年度～		
【実施主体】	青森県・八戸市		
【事業内容】	国道 340 号三日町・十三日町区間の街路をひと中心の居心地が良く歩きたくなるストリートへと再編し、歩行・滞在空間の充実を図るとともに、軒先空間も含めた空間における様々な活動		

	を誘発する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	当該地区の街路整備と屋外空間での商行為等の様々な活動の展開により、人が訪れ、人が集まるみちが形成され、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】	まちなかウォーカブル推進事業		
【支援措置実施時期】	令和 5 年度～令和 6 年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】			

(4) 国の支援がないその他の事業

【事業名】 ジャリニワ活性化事業

【事業実施時期】	令和 4 年度～		
【実施主体】	ハチカラツクル株式会社		
【事業内容】	八戸まちなか広場マチニワに隣接する砂利のスペースを活用したキッチンカーなどの出店イベントの開催や RV パーク（キャンピングカーなどの宿泊場所）の設置、LED ビジョンを活用した八戸三社大祭などの PR を行うことで来街機会を創出する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	多様なイベント開催等により交流が図られることで商業の活性化に資するとともに、来街機会の創出により「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 横丁活性化事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～
【実施主体】	八戸市・民間事業者
【事業内容】	8 つの横丁を持続的な観光資源とするため関係者で課題を整理しながら、ソフト・ハード面の環境整備を進める。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数

【活性化に資する理由】	横丁の活性化が図られることで、商業の活性化に資するとともに、来街機会の創出により「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 市日はちのへ楽市楽座事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	八戸商店街連絡協議会		
【事業内容】	各商店街で町名の日イベントや売り出しなどの市日を開催することで賑わいを創出する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	商店街イベントの活性化が図られることで、商業の活性化に資するとともに、来街機会の創出により「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 ハンドメイドレンタルボックス「テッコ舎」運営事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～		
【実施主体】	株式会社まちづくり八戸		
【事業内容】	ハンドメイド作家の支援と賑わいづくりのためレンタルボックスの貸出及び各種ワークショップを運営する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	当施設の運営により、商業の活性化に資するとともに、来街機会の創出により「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 ポータルサイト「はちまち」運営事業

【事業実施時期】	令和 2 年度～		
【実施主体】	株式会社金入		
【事業内容】	中心商店街の魅力ある店舗や商品などの効果的な情報発信とネット販売機能を持たせたポータルサイト「はちまち」を活用することで、来街機会の創出を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	当サイトの運営により、中心市街地の店舗の魅力が発信され、来街機会が創出されることで、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 マチニワイベント支援事業

【事業実施時期】	令和 4 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	八戸まちなか広場「マチニワ」において施設使用料を減免することで、飲食・物販等の販売促進イベントの開催を支援し、地域経済の活性化を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	当施設の利活用促進により、経済活性化に資するとともに、来街機会の創出により「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 まち歩き推進事業

【事業実施時期】	平成 21 年度～
【実施主体】	八戸さんぽマイスター
【事業内容】	街なか案内人「八戸さんぽマイスター」とまち歩きをすることで中心市街地の魅力を体験できる機会を創出する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出

【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地の魅力発信機会となり、来街機会の創出と回遊性の向上に繋がり「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 長者まつりめぐ広場活用事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	市民・八戸市・商店街		
【事業内容】	八戸三社大祭の山車の展示をはじめ、広場での市（いち）の開催など、市民のアイディア・手作りで交流の機会となるイベントを開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	広場が市民活動の場として利用されることで、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 花小路周辺地区まちづくり事業

【事業実施時期】	令和元年度～		
【実施主体】	八戸市・花小路周辺地区まちづくり協議会		
【事業内容】	花小路周辺地区まちづくり協議会の運営を支援する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	民地で構成される「花小路」の歩行・滞在空間の充実を促進することで、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 公会堂舞台芸術公演事業

【事業実施時期】	昭和 50 年度～		
----------	-----------	--	--

【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	公会堂において、文化芸術活動振興に資する公演会を開催することで、市民等の創造力や感性を育むとともに来街を促す。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地での文化芸術鑑賞の来街機会により、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 中心街まちぐみプロジェクト事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	八戸市、民間事業者		
【事業内容】	中心街でのアートプロジェクトを展開し、地域資源の利活用や振興と、中心市街地での市民活動を実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地における市民等によるアート活動の機会が創出され、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 タウンマネージャー設置事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～
【実施主体】	八戸市中心市街地活性化協議会
【事業内容】	中心市街地の活性化を効果的に実施するため、中心市街地活性化協議会事務局にタウンマネージャーを設置し、空き店舗対策やコンセンサス形成事業等を実施する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出 魅力ある商店街の再生
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、空き店舗・空き地率

【活性化に資する理由】	事業等の実施により、「AI カメラ地点通過者数」の増加及び「空き店舗・空き地率」の改善に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 MICE 事業

【事業実施時期】	平成 12 年度～		
【実施主体】	一般財団法人V I S I Tはちのへ		
【事業内容】	中心市街地には、コンベンション開催に適したホールや会議室が集積しており、宿泊や飲食などの経済効果が見込まれるため、市内でのコンベンション開催に対し、開催経費の一部を助成する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地には、コンベンション開催に適したホールや会議室が集積しており、コンベンションの開催による宿泊や飲食などの経済効果が見込まれ、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 まちなか共通駐車券運営事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～		
【実施主体】	株式会社まちづくり八戸		
【事業内容】	中心市街地への来街手段として最も多いマイカー利用者の利便性を向上させるため、駐車料金支払いに使えるまちなか共通駐車券「おんでカード」を加盟店で発行する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	インセンティブによる来街機会の創出に繋がり、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	

【その他特記事項】	
-----------	--

【事業名】 街かどミュージアム運営事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	民間事業者		
【事業内容】	個人が所蔵する文化的価値の高い膨大な資産を展示・公開し、歴史・文化を広く学び楽しむ場を提供する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地への来街機会と回遊拠点の一つとなることから「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 都市再生推進法人事業

【事業実施時期】	令和 2 年度～		
【実施主体】	都市再生推進法人（株式会社まちづくり八戸）		
【事業内容】	市が指定する都市再生推進法人が、まちづくりの担い手として低未利用地などの活用、イベントの実施及び都市開発等を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	低未利用地等の活用や民間主体のイベント実施等により、賑わいの創出が期待できることから「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 成人式開催事業

【事業実施時期】	令和 4 年度～
【実施主体】	八戸市
【事業内容】	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年の門出を祝福するため、式典を開催する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	

【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	当式典の中心市街地での開催により、若者の来街機会の創出や回遊性向上が期待されることから「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 農業新ブランド育成事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	八戸いちごや糠塚きゅうりなどの伝統的な地域の食材を普及させるためのイベントを八戸ポータルミュージアムや八戸まちなか広場で実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	来街機会を創出し、「AI カメラ地点通過者数」と「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 スピードスケート国際大会等誘致事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	中心市街地に立地する利点を活かし、屋内スケート場として、また、他のスポーツ、コンベンション等のイベントや会議等、多目的な利用を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	事業の実施により、中心市街地での宿泊、飲食等の機会創出に繋がることから、「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	

【その他特記事項】	
-----------	--

【事業名】 中心街委員会事業

【事業実施時期】	令和 5 年度～		
【実施主体】	八戸商工会議所		
【事業内容】	多様なメンバーで構成する「中心街委員会」で、賑わい創出イベントをはじめ、中心街の魅力・求心力向上に資する取組を企画・実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	イベントや取組の企画・実施により、来街機会が創出されることから「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 まちの魅力創生ネットワーク会議

【事業実施時期】	令和 4 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	市の未来を担う若者や女性にとって魅力ある街の実現に向けて、市長に対して政策提言を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	提言に沿った事業を検討・実施することで、来街機会と賑わいの創出が見込まれ、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 文化・スポーツ事業と商業機能との連携事業

【事業実施時期】	令和 4 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	中心街の各施設の連携による文化・スポーツに親しめる環境づくりと、ユニークベニユーやキッチンカー・テント出店による		

		マーケット事業などの取組を通じた商業との連携を図る。	
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数、公共施設来館者数		
【活性化に資する理由】	施設間連携による各種プログラムの実施により、来街者の増加や回遊性向上が図られることで「AI カメラ地点通過者数」及び「公共施設来館者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 民俗芸能の夕べ開催事業

【事業実施時期】	昭和 53 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	八戸市内で活動している民俗芸能団体の技術向上や伝承活動の活性化に寄与する発表会を開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中心市街地での開催により、市内各地区の民俗芸能団体関係者や愛好家などの来場が見込まれることから、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 八戸市中心市街地のまちづくりに関する覚書事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～
【実施主体】	八戸工業大学・株式会社まちづくり八戸・八戸市
【事業内容】	課題解決力、デザイン能力、コミュニケーション力を有した人材を地域と共に育成することを目的に、中心市街地におけるまちづくりの様々な課題に対し、八戸工業大学が解決に向けたアイデアを提案することで、中心市街地活性化を図っていく。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数
【活性化に資する理由】	学生の発想による中心街の課題解決策を実現化することにより「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。

【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 エリアマネジメントの視点での空き店舗対策事業

【事業実施時期】	令和５年度～		
【実施主体】	八戸市中心市街地活性化協議会		
【事業内容】	遊休不動産や低利用不動産の所有者からのヒアリングや各種調査・分析を行い、課題と対策を整理した上で面的・長期的な視点を持った空き店舗対策を実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出 魅力ある商店街の再生		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数 空き店舗・空き地率		
【活性化に資する理由】	エリアの魅力向上による来街機会の創出や空き店舗等の解消が図られることから、「AI カメラ地点通過者数」及び「空き店舗・空き地率」の改善に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 マチナカまるっと１日体験事業（５館連携）

【事業実施時期】	令和 6 年度～		
【実施主体】	八戸市		
【事業内容】	中高生の地元の愛着醸成につなげるため中心市街地の公共施設（美術館・八戸ポータルミュージアム・長根屋内スケート場・八戸ブックセンター・図書館）の業務や企画・運営を体験してもらう。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	中高生の来街機会の創出につながることから、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 八戸工業大学番町サテライトキャンパス「ばんらぼ」運営事業

【事業実施時期】	令和４年度～		
【実施主体】	八戸工業大学		
【事業内容】	一般市民を対象とした文化・教養の向上や暮らしに役立つ情報などの公開講座の実施に加え、学生の教育・研究展示や、市民等が自由に出入可能な空間を提供するとともに、施設の区分貸し出しなどを行うほか、「こどもまちなか IT 部」の活動の場として幅広く活用する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	ウォークアブルな空間づくりの推進と賑わい創出		
【目標指標】	AI カメラ地点通過者数		
【活性化に資する理由】	多様な方の来街機会の創出につながることから、「AI カメラ地点通過者数」の増加に寄与するため。		
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			